



## 2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月5日  
東

上場会社名 株式会社ケアサービス 上場取引所  
 コード番号 2425 URL <https://www.care.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福原 俊晴  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 木高 毅史 (TEL) 03-5753-1170  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	7,414	3.2	365	2.9	378	△1.5	220	△4.7
2024年3月期第3四半期	7,186	4.2	355	8.4	384	12.7	230	△7.7

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 221百万円(△4.1%) 2024年3月期第3四半期 231百万円(△11.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	58.03	—
2024年3月期第3四半期	60.89	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	3,978	2,803	70.5
2024年3月期	3,857	2,642	68.5

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 2,803百万円 2024年3月期 2,642百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	16.00	16.00
2025年3月期	—	0.00	—		
2025年3月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

## 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,149	5.3	640	23.5	653	17.4	437	15.8	115.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有  
新規 一社 (社名) 、除外 1社 (社名) 株式会社ケアサービス  
ヒューマンキャピタル
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期3Q	4,200,000株	2024年3月期	4,200,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	406,807株	2024年3月期	406,780株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期3Q	3,793,205株	2024年3月期3Q	3,793,239株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料] 3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境が改善されたことから景気は緩やかな回復が見られました。一方、中東情勢の緊迫化やウクライナ情勢の長期化によるエネルギー価格及び原材料価格の高止まりや、円安長期化への懸念などから、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

介護業界におきましては、食材費や消耗品価格の上昇による影響に加えて、介護を必要とする高齢者に対し担い手が不足していることなどから人件費及び採用コストの上昇が続いており、特に介護人材の採用と定着は、引き続き介護事業者の大きな課題となっております。

このような状況の下、当社グループは「介護からエンゼルケアまで」の一貫したサービスを提供するための経営基盤の構築を図るとともに事業拡大に努めてまいりました。

経費や業務の見直し等によるコスト削減を継続する一方、お客様満足に繋がるサービスを提供するための設備への投資、従業員の働く環境の改善に対する投資を積極的に行いました。また、研修・教育に注力し、将来を担う社員の育成と登用、従業員の給与水準や賞与の引き上げ等を実施しました。

当第3四半期連結累計期間における国内既存事業所数につきましては、3事業所を開設、2事業所を閉鎖し、合計114事業所となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は7,414百万円（前年同四半期比3.2%増）、営業利益は365百万円（前年同四半期比2.9%増）、経常利益は378百万円（前年同四半期比1.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は220百万円（前年同四半期比4.7%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### （在宅介護サービス事業）

当事業におきましては、労働環境の適正化に伴う取り組みを推進しており、デイサービス、訪問入浴において件数、売上ともに減少したものの、介護事業全体の売上高は横ばいとなりました。一方、人件費及び消耗品等の費用が増加したことにより減益となりました。

事業所の出退店状況につきましては、訪問入浴事業所1事業所を開設しました。当第3四半期連結累計期間におきましては、居宅介護支援事業所1事業所、訪問入浴事業所各1事業所を開設、デイサービスセンター1事業所、訪問看護事業所各1事業所を閉鎖しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は5,267百万円（前年同四半期比0.3%増）、セグメント利益は384百万円（前年同四半期比9.6%減）となりました。

#### （シニア向け総合サービス事業）

当事業におきましては、エンゼルケアサービスにおいて、サービス品質向上の取り組みが奏功し、業績は好調に推移しました。また、今後の拠点拡大に向け、引き続き人材の育成と登用に努めております。

事業所の出退店状況につきましては、エンゼルケア事業所1事業所を開設しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,147百万円（前年同四半期比11.1%増）、セグメント利益は488百万円（前年同四半期比20.3%増）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末より121百万円増加し、3,978百万円となりました。

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、3,223百万円(前連結会計年度末3,076百万円)となり、146百万円増加しました。現金及び預金131百万円の増加、流動資産その他15百万円の増加が主な要因であります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、755百万円(前連結会計年度末780百万円)となり、25百万円減少しました。建物(純額)9百万円の減少、無形固定資産その他9百万円の減少、のれん6百万円の減少が主な要因であります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、893百万円(前連結会計年度末924百万円)となり、30百万円減少しました。未払費用56百万円の増加に対し、賞与引当金が91百万円減少したことが主な要因であります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、280百万円(前連結会計年度末290百万円)となり、9百万円減少しました。退職給付に係る負債14百万円の増加、固定負債その他23百万円の減少が主な要因であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、2,803百万円(前連結会計年度末2,642百万円)となり、160百万円増加しました。親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による220百万円の増加に対し、配当金の支払いによる60百万円の減少が主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月14日に公表いたしました2025年3月期の連結業績予想数値から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,522,981	1,654,823
売掛金	1,471,940	1,471,613
その他	81,748	97,060
貸倒引当金	△259	△246
流動資産合計	3,076,410	3,223,250
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	149,691	139,876
その他（純額）	176,125	182,543
有形固定資産合計	325,816	322,420
無形固定資産		
のれん	8,233	2,110
その他	62,430	52,552
無形固定資産合計	70,663	54,662
投資その他の資産		
敷金及び保証金	195,008	191,036
その他	189,524	187,403
貸倒引当金	△42	△267
投資その他の資産合計	384,490	378,172
固定資産合計	780,970	755,255
資産合計	3,857,381	3,978,506

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	139,982	145,592
未払費用	275,561	331,954
未払法人税等	79,798	74,679
賞与引当金	130,186	38,679
その他	299,021	303,048
流動負債合計	924,550	893,955
固定負債		
退職給付に係る負債	222,738	236,905
その他	67,375	43,945
固定負債合計	290,114	280,850
負債合計	1,214,664	1,174,806
純資産の部		
株主資本		
資本金	205,125	205,125
資本剰余金	138,075	138,075
利益剰余金	2,443,593	2,603,037
自己株式	△148,247	△148,271
株主資本合計	2,638,546	2,797,966
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	4,170	5,733
その他の包括利益累計額合計	4,170	5,733
純資産合計	2,642,717	2,803,699
負債純資産合計	3,857,381	3,978,506

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
売上高	7,186,781	7,414,353
売上原価	6,276,028	6,455,151
売上総利益	910,752	959,202
販売費及び一般管理費	555,713	593,917
営業利益	355,039	365,284
営業外収益		
受取保険金	4,969	3,179
補助金収入	21,674	9,256
助成金収入	1,256	444
為替差益	1,075	-
その他	2,304	2,166
営業外収益合計	31,281	15,047
営業外費用		
支払利息	1,626	657
為替差損	-	845
その他	532	544
営業外費用合計	2,158	2,047
経常利益	384,161	378,283
特別損失		
事業所閉鎖損失	13,341	19,493
固定資産除却損	1,227	-
特別損失合計	14,568	19,493
税金等調整前四半期純利益	369,592	358,789
法人税等	138,606	138,653
四半期純利益	230,986	220,135
親会社株主に帰属する四半期純利益	230,986	220,135

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	230,986	220,135
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	286	1,563
その他の包括利益合計	286	1,563
四半期包括利益	231,272	221,698
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	231,272	221,698

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用につきましては、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第3四半期連結会計期間の期首から適用しております。

なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	在宅介護 サービス事業	シニア向け総合 サービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,253,411	1,933,370	7,186,781	—	7,186,781
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,253,411	1,933,370	7,186,781	—	7,186,781
セグメント利益	425,370	405,839	831,209	△476,170	355,039

(注) 1. セグメント利益の調整額△476,170千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△476,170千円です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	在宅介護 サービス事業	シニア向け総合 サービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,267,316	2,147,036	7,414,353	—	7,414,353
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,267,316	2,147,036	7,414,353	—	7,414,353
セグメント利益	384,469	488,405	872,875	△507,591	365,284

(注) 1. セグメント利益の調整額△507,591千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△507,591千円です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	104,249千円	103,346千円
のれんの償却額	10,541	6,122